



「伝わること」を目指して

副校長 古都 直

先日は、今年度最後の土曜授業公開に多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。児童の学校での頑張りを見ていただく絶好の機会である土曜公開日ですが、年々児童数の増加で御不便をおかけしております。今後も御理解・御協力をいただくことと思っておりますが、よろしくお願ひします。

最近コミュニケーションの大切さを実感することが多くなりました。伝わっているだろう、分かっているだろうなどはコミュニケーション不足の最たるものと思われまふ。古くから日本では「察すること」が重視されてきました。もとは相手の気持ちを推し量る、相手を思いやるということが、奥ゆかしさにつながる要素と考えられていたからです。しかしながら、現代はグローバル化や多様化が進んでいることから、様々な考え方や感じ方が一般的になっています。そのような社会では、「察すること」よりも「伝わること」が最優先事項となります。一方向的な「伝えること」ではなく、相手が理解できているかを考えながら伝える「伝わること」の技術を身に付けることが大事だと思います。「言ったよね。」「分かったよね。」はあくまでも発信者目線であり、受信者にとっての「伝わった」を実感できる表現やコミュニケーションを目指したいと思ひます。

コミュニケーションは面倒な一面もありますが、お互いを認め合い、高め合うための素晴らしい方法です。大人も子供も「伝わること」を目指して頑張っていきましょう。

6年生を送る会に向けて

特別活動部

2月28日(水)3、4時間目に「6年生を送る会」を予定しています。5年生の計画委員が中心となり、プログラムや各学年の役割を決めました。今年度の目玉は、「クイズ本郷王」や「6年生への挑戦」、「全校合唱」の時間です。「クイズ本郷王」とは、今年度、6年生が開校25周年記念児童集会で行ったものです。これを基に5年生がアレンジを加え、楽しいクイズを出題します。「6年生への挑戦」の時間は、1～5年生が学年ごとにけん玉や百人一首など、6年生と競争したい内容を決め、各学年の代表児童が次々と6年生と勝負をします。また、6年生へ感謝の気持ちを届けたいという児童の思ひから「全校合唱」も行うことにしました。最高学年として、運動会や音楽会、委員会、縦割り班活動などの様々な場面で、学校の先頭に立ち活躍してきた6年生。そんな6年生の卒業をお祝いするとともに、今までの感謝の気持ちを伝え、思ひ出に残る楽しい時間を過ごします。

小学生になって楽しかったこと -1年生の感想-

- 水遊びの時に、自分のおもちゃを作って遊んだのが楽しかったです。 1-1
- 運動会で、みんなでダンスホールを練習して踊ったのが楽しかったです。 1-1
- ぼくは、勉強が楽しいです。算数とか国語で、いっぱい手を挙げて発表しています。 1-2
- 子ども郵便局です。本郷小学校のみんなが、手紙を書いて幸せになれたからです。 1-2
- 鍵盤ハーモニカで、きらきら星や子犬のマーチ変奏曲を演奏したのが楽しかったです。 1-3
- プールの水の中で、みんなで宝探しゲームをしたのが楽しかったです。 1-3
- みんなと一緒に鬼ごっこをして遊んだり、勉強したりするのが楽しいです。 1-4
- 「天までとどけ、1、2、3。」と、みんなでジャンプしたのが楽しかったです。 1-4

生活指導部より

寒さが厳しい時期となりました。ポケットに手を入れて登下校する児童を見かけます。いざという時に手が出ずに怪我をしてしまうこともあります。手袋を活用して、手が自由に使えるようにしておくことを、家庭でもお話しください。